

いあいあい

社会福祉法人 放泉会

会長 瓜坂 正之  
理事長 瓜坂 尚之

大田市長久町に建設しておりました、介護老人福祉施設「サンシルバーさわらび」が無事竣工し、五月一日に開苑を致しました。これも偏に、関係各位のご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

新施設はプライベートに配慮した全室個室のユニット型介護老人福祉施設（特養）として整備しました。

「サンシルバーさわらび」の竣工で法人の事業所が長久の地に集約され、児童福祉から高齢者福祉まで新たな福祉の拠点としての務めを担って参りたいと存じます。

今後、法人理念の「福祉は人なり」のもと、放泉会の福祉サービスの更なる発展の為、役員一丸となって努力して参る所存です。

皆様の変わらぬ御支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

介護老人福祉施設  
サンシルバーさわらび 竣工



令和2年5月1日(金) 開苑

「福祉は人なり」のもと、放泉会の福祉サービスの更なる発展の為、役員一丸となって努力して参る所存です。皆様の変わらぬ御支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

藤井 保 氏の写真



「AKARI 25」



「AKARI 25 STUDIO」

「AKARI 25」サンシルバーさわらび竣工に寄せて、法人の瓜坂正之会長と古くから交流のある三瓶町出身の写真家藤井保氏より二枚の写真を竣工記念に寄贈頂きました。カンヌ国際広告祭他多くの賞を受賞している藤井氏の貴重な写真です。玄関、エントランスホールに掲げられています。

ありがとうさわらび苑

社会福祉法人 放泉会  
統括苑長 瓜坂 恭子

「さわらび苑」が長久に移転し「サンシルバーさわらび」としてスタートして、一か月ほど経ったある日、緑に輝く光と初夏の風を感じながら、解体間近のさわらび苑へと足を運びました。

石段を降りると、いつも通りのせせらぎの音、その川向うでは、ずっとさわらび苑の歴史を見守って頂いた観音様も、変わる事のない優しいお顔で迎えて下さいました。

全てがこれまでと何ら変わらない風景でしたが、ふと耳を澄ませると鶯の「ホー、ホケキョ、ケキョ、ケキョ、ケキョ」という美しい鳴き声。変わらぬ風景の中でこの鳴き声だけが、「寂しいね」と囁いているように思えます。



解体間近のさわらび苑前にて…

令和二年度は、「置かれた場所に咲く花に」の法人フレーズでスタート致しましたが、例年になく落ち着かない年度始めとなりました。

全世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス！  
当法人もご多分に漏れず…。

〈介護クラスターで見えてきた命を守る鍵〉〈コロナで得たもの、失われたもの〉色々な言葉や価値観が生まれて来たのも事実ですが、この新しい脅威からご利用者様を守り守ることが、私たちの第一の使命であることに間違いはありません。

私の尊敬する大先輩の本棚を拝見する機会がありました。変わっていく女性の年代別の生き方。誰もが通る老いの道。死生観・死をめぐる医業と介、看護の受容。どれも老いを嘆かず、ありのまま受け入れて生きようとする聡明な先輩らしい愛読書の数々でした。

人も施設も建物も、歴史を重ねることによって変化し、成長していかなければなりません。しかし、建物が新しくなっても変わる事のない、変わってはいけない確かなものがあります。

さわらび苑で聞いた寂し気な鶯の鳴き声はきくと、新しく大きな一歩をまた再び歩み出す私たちのことを後押ししてくれていたのかもしれない。

【温故知新】新たなサンシルバーさわらびの開苑に寄せて、命を尊び、ご利用者様第一に、三十五年の歴史を重ねてきた福祉理念を再確認し、新たな風を取り入れながら更なる向上を目指すよう精進してまいります。

### 天皇陛下から御下賜金を授与

御下賜金とは、毎年天皇誕生日に際し、優良な社会福祉施設・団体に対して天皇陛下より授与される金一封のことです。昨年度は島根県では唯一当法人が2月21日県庁において、丸山知事より瓜坂尚之理事長に伝達されました。

人は心

昭和59年の社会福祉法人設立より35年、地域活動や地域福祉に大きく貢献していることが評価されたものです。今後とも地域福祉の向上・発展の為、役職員一体となって努力して参ります。



放泉会(大)選ばれる御下賜金拝受団体  
 地域に貢献する社会福祉施設や団体に対し、天皇陛下が天皇誕生日に合わせて贈られる2019年度の御下賜金。

丸山達也知事(右)から金一封を受け取る瓜坂尚之理事長

下賜金拝受団体に大田市三瓶町池田の社会福祉法人・放泉会(瓜坂尚之理事長)が選ばれ、丸山達也知事がこのほど、金一封を伝達した。

同法人は、1984年設

立。特別養護老人ホームや保育所、放課後児童クラブなど8事業所を運営している。長年にわたって大田市内の高齢者福祉事業に携わり、地域の中高生の介護体験学習受け入れなど地域福祉に大きく貢献していることが評価された。

松江市殿町の県庁であった伝達式で、瓜坂理事長は「今後も地域福祉の向上と発展に寄与したい」と述べた。(平井優香)

今般その事業御奨励の思召をもって金一封を賜りましたからこの旨お伝えいたします

令和二年二月三日  
 宮内庁長官 西村泰彦

社会福祉法人 放泉会 殿

山陰中央新報 令和2年2月28日 掲載

### 定礎式を行いました。



ついに「サンシルバーさわらび」が完成！「さわらび苑」開苑記念日の4月11日に竣工式を予定しましたが、コロナ騒動の中とても開催できる状況にはなく、やむなく中止。しかし、落成を記念し礎石を埋め込む定礎式は工事にかかせない行事のため、関係者のみで簡素に行うこととなりました。その様子をお伝えします。

4月24日(金)午前中、遷幣姫神社(土江神社)の山本宮司様により定礎の神事が滞りなく斎行されました。玉串奉奠では、放泉会より瓜坂正之会長、設計者のジャクエツより徳本社長代理、施工者の今井産業より今井社長の三名が順次祭壇に拝礼。

神事終了後、土地提供者代表の岩谷睦氏と設計者、施工者の皆さんに、放泉会より感謝状を贈呈しました。

また、今井産業様より「金澤翔子 書画『至福』」、ジャクエツ様より「森田リエ子 花の四季」を完成記念品としていただきました。ありがとうございました。

最後に、玄関前に移動し定礎石の据付です。定礎板の奥には「定礎箱」と呼ばれるステンレス製の箱が埋め込まれます。定礎箱の中には、当日の某新聞、設計書、竣工のしおり、放泉会・ジャクエツ・今井産業のパンフレット、基本設計調印式の瓜坂会長と徳本社長の写真が入っています。

定礎式一連の行事終了後は、特別教養講座「笑いの力」が「おばば」により行われるなど、簡素な中にも思い出に残る式典となりました。



### 慣れ親しんだ三瓶町池田からの移転

サンシルバーさわらびが無事竣工し、5月1日開苑に合わせて移転が行われました。当日は五月晴れに恵まれて、早朝よりご利用者の皆様は介護タクシー等に分乗し、永らく親しんだ三瓶町池田から、川合町、大田町を経由して長久町土江の地へ無事移転することができました。移転から1ヶ月が過ぎ、ご利用者の皆様は落ち着いた生活を送ってられます。



サンシルバーさわらび苑歌

一、四方に聳える 銀の街  
 太陽の子達に 囲まれて  
 共に歩む さわらびの  
 寿高の里 サンシルバー

二、もえぎに映える 長久の  
 あたたかい人垣 囲まれて  
 あふれる喜び わかちあい  
 寿高の里 サンシルバー

## 善意のあれこれ

サンシルバーさわらびの開苑に寄せて、たくさんの皆様より祝意を頂き、誌面をお借りして御礼申し上げます。



その中の一部で、市内にて営業されていたお店より『恵比寿大黒様』を頂きました。つつい撫でてしまう大きなお腹や柔和お顔は、瞬間に御利用者のお気に入りになったことは言うまでもありません。

また、サンシルバーの玄関先には春の訪れを感じられる『芝桜』を三瓶町池田で丹精込めて育て届けて下さいました。「あんまり水やりすぎたらいけんで！」と諸注意も伝授頂き、サンチャイルドの子どもたちと一緒に可愛らしいお花を受け取りました。



昨今ではコロナ禍により、イベントや学校給食が中止になった関係で食材が廃棄される事態がこの近辺でも起こっており、福祉施設で利用して下さいれば…と多方面から無償で食品をご寄付頂きました。

新型コロナウイルスが猛威を振るい、長久町稲用の農園からは「福祉施設にはマスクが必需品、手に入れるのが難しいでしょうから」と苦勞して買い集めて下さったマスクを頂きました。

いつ終息が訪れるのか未だわかりませんが、このような事態だからこそ、人の温かさや沢山の方々に支えられているということに改めて感謝しその善意を放泉会の宝物として大切にしていきたいと思ひます。

愛は人  
こころはあい

## 寄贈品のご紹介



春



夏



秋



冬



「森田りえ子作 花の四季」



「至福」

ダウン症の天才書家  
金澤翔子さんの作品です。

以前、篤志家の方から出雲民芸紙の創作者で人間国宝の安部榮四郎氏の書を頂きました。自身で渡いた和紙に書かれた貴重な書。その額縁を市内にお住いの方々に作って頂きました。本職で額縁づくりをしている方ではないのですが、その手先の器用さは、玄人はだしです。出来上がってきた額縁に入れられた書の風格も一段と上がり、威厳を宿して壁に掲げられています。



## さわらび苑での35年に感謝して

さわらび苑解体工事にかかる安全祈願祭が請負業者の山崎組主催で行われました。地元の氏神（高田八幡宮）の村田宮司さんと太鼓たたき、笛吹きも来られ盛大かつ厳粛に行われました。旧役員もほとんど参加、現役員も多数参加され、発展の喜びの中にも、三瓶町池田の地に誕生したさわらび苑が取り壊される一抹の寂しさを感じました。そして過ぎし日を懐かしむ旧職員の参加もあったことに喜びを感じたところです。



## 思い出のアルバム（替え歌）

一 さわらびの歴史を

ひもといてみました

ラヂウムを使った この施設

松林開いて 川の流れ変えて

この地に建って 三十数年

二 銀の街に生まれた

サンシルバーさわらび

培った歴史を 大切に

福祉の世界の ゴールドへの飛翔

みんなで目指す サンシルバー

新型コロナウイルス感染予防のための面会制限

「新型コロナウイルス感染症」という見えない敵との戦い。私たちの介護現場は、入居者に「密接」にかかわらなければ成り立たません。そのため、日々「感染症を持ち込まない」「感染症を拡げない」ための対策が必要となります。しかし、感染症対策は、入居者の暮らしに少なからず影響を与えることとなり、今まで“当たり前だった日常”が制限されています。中でも「家族・親族との面会制限」は大きなストレスになっていると感じられます。家族と会えず、コミュニケーションが取れないことは、入居者のみならず、ご家族にも影響を与えていることもわかりました。「うちの父（母）は元気ですか?」「面会に行けなくて私がノイローゼになりそうだ」など不安を抱えたご家族からの声を耳にすることもありました。私たちは、「面会ができないことは感染症対策だからやむを得ない…」と感じつつも、「どうしたらご家族の不安を解消できるか」悩んでいました。そこで考えたのがガラス越しの面会あるいはビニールシート設置による面会です。収束へのめどがつくまで少なからず不自由さはありますが、面会された方からは喜びの声を頂いております。



オンライン面会

6月8日の午前中、大きな紙袋を抱えた紳士がお見えになり、「パソコンを使ってもらおうと思って…」突然のことに驚く職員！良くお話を聞いてみると使わなくなったスカイプ用のパソコン1台、タブレット1台を寄贈して下さいとのこと。面会制限の中、近隣の方には透明ビニール越しの面会をして頂く事は可能ですがホールに出る事が出来ないご利用者様にはそれも叶いませんでした。しかし、この思いがけない贈り物のお蔭様で、画面越しにお顔を見て頂く事が可能に。願ったり叶ったり！ご厚意に感謝感激!! この紳士は、川合町にお住いの〇氏でした。

※当面は施設窓口に来ていただいでのご利用となります。ご了承ください。ご希望の方は事前にご連絡下さいます様お願い致します。

ご家族へ緊急ご報告

長期にわたる面会制限の中、生活のご様子をご家族へお知らせいたしました。「サンシルバーさわらび」では新施設で落ち着いた生活を送られておられること、「ゆうイングさわらび」では地域の方から頂いた夏豆のさやむき、また朝の会での様子等苑での生活のほんの一部ですがご紹介いたしました。ご家族からは、「しばらく会っていないが様子がわかって安心しました」との連絡も多くなりました。

サンチャイルド長久さわらび園への新型コロナの影響

新型コロナウイルスの感染拡大により、保育園にも様々な影響がありました。令和2年度の入園式は感染予防対策のため縮小した形となりましたが、16名の新入園児さんと保護者の皆様をお迎えし無事終えることができました。しかしながら、その後全国へ緊急事態宣言が出され、感染予防対策として、在宅保育、あるいは送迎時の玄関での引継ぎのお願いをしていたところでした。幸いにも、緊急事態宣言が解除され、在宅保育のご協力のお願いは終了となり、6月からはお子様の送迎も通常とおりとなりました。ただし、完全に収束している状況ではありませんので、今後も感染対策をしっかりと行っていく予定です。



生花クラブ

デイサービスでは毎月1回、職員を講師としてレクリエーションに小原流の生花クラブの活動をしています。四季折々の生花を各自工夫しながら活かして頂きますが、「ありゃりゃ、池坊とは勝手が違うわ」なんて御愛嬌もあり、楽しく和やかな時間を過ごしながら季節を感じられ、ご利用の皆様が大変喜ばれています。



令和元年度 会計報告

資金収支計算書

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日 (単位:円)

勘定科目	決 算
介護保険事業収入	756,954,329
児童福祉事業収入	12,208,300
保育事業収入	145,587,350
借入金利息補助金収入	262,560
経常経費寄附金収入	1,003,000
受取利息配当金収入	1,532,710
その他の収入	2,001,653
事業活動収入計(1)	919,549,902
人件費支出	625,314,038
事業費支出	124,505,347
事務費支出	34,568,066
利用者負担軽減額	327,560
支払利息支出	860,898
事業活動支出計(2)	785,575,909
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	133,973,993
施設整備等補助金収入	116,067,000
その他の施設整備等による収入	381,764
施設整備等収入計(4)	116,448,764
設備資金借入金元金償還支出	13,786,000
固定資産取得支出	345,015,992
その他の施設整備等による支出	1,302,972
施設整備等支出計(5)	360,104,964
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△243,656,200
収入	
積立資産取崩収入	726,333,772
その他の活動による収入計(7)	726,333,772
積立資産支出	545,533,772
その他の活動支出計(8)	545,533,772
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	180,800,000
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	71,117,793
前期末支払資金残高(12)	508,703,004
当期末支払資金残高(11)+(12)	579,820,797

事業活動計算書

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日 (単位:円)

勘定科目	決 算
介護保険事業収益	756,954,329
児童福祉事業収益	12,208,300
保育事業収益	145,587,350
経常経費寄附金収益	1,003,000
サービス活動収益計(1)	915,752,979
人件費	627,682,038
事業費	124,505,347
事務費	34,568,066
利用者負担軽減額	327,560
減価償却費	59,635,256
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 22,343,957
徴収不能額	0
サービス活動費用計(2)	824,374,310
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	91,378,669
借入金利息補助金収益	262,560
受取利息配当金収益	1,532,710
その他のサービス活動外収益	2,001,653
サービス活動外収益計(4)	3,796,923
支払利息	860,898
サービス活動外費用計(5)	860,898
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,936,025
経常増減差額(7)=(3)+(6)	94,314,694
施設整備等補助金収益	116,067,000
固定資産受贈額	0
特別収益計(8)	116,067,000
固定資産売却損・処分損	2
国庫補助金等特別積立金積立額	116,067,000
災害損失	0
特別費用計(9)	116,067,002
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 2
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	94,314,692
前期繰越活動増減差額(12)	1,072,718,745
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,167,033,437
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	726,333,772
その他の積立金積立額(16)	545,533,772
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,347,833,437



放泉会として大きな節目である「サンシルバーさわらび」の竣工に立ち会えた喜びを感じている職員ですが、一方で新型コロナウイルス感染予防のための面会制限・外出自衛など様々な制約を強いられているこの頃です。新しい生活様式で買い物一つにも様々な新しいルールが設けられています。この戦いの終息は何時になるかわかりません。世界規模でこのような価値観の変化を求められるというのにもか

な経験できない事です。コロナと共存するという新しい価値観を受け入れながらアフターコロナには、良い経験が出来たと思いたいものです。その為に、新型コロナウイルスからご利用者様を守るという自覚を職員一人一人持ち続けなければなりません。法人としての新たなスタートの年は、周りの環境がいつもとは大いに違っていますが、変わらぬ基本理念のもと前進していきたいものです。(編集委員：向田健治・小川 景・佐竹美香)